

●●●●》 本学の取組の目的

- 愛知県と知多半島の5市5町が国の地域再生計画による認定をうけた「中部国際空港を核とする知多半島観光再生計画」の実現に向けて、学生の主体的な活動参加を促進します。同時にこの事業を支える学部の実践型教育の充実を図ります。
- 学生の主体的な活動参加においては、地域再生計画に関連する集客型のイベントならびに事業の調査・提言活動に対する情報提供、企画及び事業費等の援助を行います。
- 学部における実践教育においては、
 - ①フィールド型授業については、履修学生の拡大、地域の諸団体との連携の強化を図ります。
 - ②シミュレーション型授業については、メディア教材の充実等による学生の調査・分析・提言能力の向上を図ります。
 このような学部における実践型教育を通じた地域再生事業への学生の主体的な活動参加をもって、本地域再生計画の実現に貢献するとともに、学生の問題解決能力の向上を促すことを目的とするものです。

●●●●》 地域再生にむけた連携



美浜キャンパス 12号館5階に現代GP推進室を開設しました。各プロジェクトのサポート、地域ニーズの調査、情報の収集・発信など学内外の活動をコーディネートします。各種データ、資料を整備し、充実を図っており、このプログラムに関わる全ての人に開放されています。

地域のNPO団体、企業、商店街、自治体、経済団体などの社会的資源を学生の教育の“場”として活かすことができるようにとらえ直し、そこから地域ニーズの発見につとめます。現在特に重点的に取組をすすめているのは、各テーマ毎の関連データの集約、現状把握です。

学部の正規のカリキュラムの中で、地域分析の手法、統計処理などの技術学習と、地域学、地域経済論はじめ、各学部の専門科目で理論、政策学習をすすめます。また教員の指導のもと、学生たちが主体的に各プロジェクトを編成し、グループによる学習をすすめます。